

## 平成29年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	1	岡谷市文化会館（カノラホール）		
指定管理者	名称	(公財) おかや文化振興事業団		指定期間	H28. 4. 1~H33. 3. 31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	151,645,000 円	
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施				
施設担当課	ブランド推進室				

### 1 施設担当課によるモニタリングの実績

#### ○施設訪問

- 施設訪問の頻度

▼より選択

月に数回

- 施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	○
業務指導、改善要求	○

#### ○事業報告書

- 報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
	○		○

#### ●モニタリングの結果

- モニタリングで把握した課題

・ 枯木があり倒木の危険性を確認した。  
 ・ 第一練習室壁の破損箇所を確認した。

- 指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

・ 枯木の伐採を依頼。  
 ・ 第一練習室壁の破損箇所の修繕を依頼。

- 業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

## 2 施設担当課としての評価

### ○ 実績評価

・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	4	4	幅広い年齢層、市民ニーズをふまえた多岐にわたるジャンルの事業を実施できた。
経費縮減	4	5	経費削減については各科目について工夫と努力により削減に取り組んでいる。
職員の配置	4	4	適正な人員配置により施設を適正に管理できた。
有資格者等の配置	4	4	施設管理及び文化事業の企画制作に関して適正な有資格者を配置し管理運営を行っている。
職員研修の実施	4	4	研修会や他館の視察などを行い、個人のスキルアップを図っている。
施設の維持管理	5	5	施設の維持管理や清掃業務を適正に実施し、安全で快適に使用できるように努めた。
住民の平等利用の確保対策	4	4	主催者と綿密な打合せを行い、施設の平等性を理解していただき気持ちよく使用していただけている。
サービス向上対策	4	4	きめ細かな人的支援を心がけ、すべての来場者にとって使いやすいように心がけている。
利用者の要望の把握及びその実現対策	4	4	鑑賞者の負担をできるだけ軽減し、多岐にわたる催し物を実施している。
自主事業の実施	5	5	市民のニーズを踏まえ多岐にわたる事業を実施できた。
地域、他施設との連携	5	4	カノラ・パートナーショップ・プロジェクトや他施設との連携を実施し、大きな成果をあげた。
施設の運営	4	4	利用者の利便性に配慮しながら、条例、規則に従い適正に運営できた。
個人情報保護に向けた取り組み	4	4	おかや文化振興事業団訓令第1号及び個人情報保護要綱に基づき適正に管理出来た。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	4	4	岡谷市文化会館施設管理及び緊急対応マニュアル及び岡谷市文化会館消防計画を徹底させ職員が即座に対応できるようにしている。
合計	59	59	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑増、↓減、→現状維持

▼より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	↑	2
年間利用者数、件数	↑	2
1日あたり利用者数、件数	↑	2
施設使用料年間収入額	↑	2
活動一単位あたりコスト	↑	2
合計点	10	

有効性評価	標準
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高熱水費については、7月より契約を新電力へ移行したことにより、電気料が前年度比約75万円減となった。</li> <li>・ 利用者の利便性と大ホールの利用率向上を図るため、客席階層単位の貸出を7月より実施し、来場者総数並びに使用料収入は前年度に比べ大幅な増となった。</li> <li>・ 広報おかやへの催し物案内を掲載するほかに、各所へのポスター掲示及びチラシの配布、普及率の高い新聞・情報誌等への記事や広告掲載、テレビでの情報発信、ホームページへの掲載など多角的な広報に努めた。</li> <li>・ きめ細やかな人的支援を心がけ、使用者へのアドバイス、協力、身体的ハンデを持つ方への配慮等を積極的に行った。また、幼児がいるご家庭への配慮として自主事業では託児室を設け同伴できないコンサート等にも安心してご来場いただけるよう対応を図るとともに、幼児同伴できる事業を開催した。</li> </ul>
---

・ 改善が必要だと考える事項

なし
----

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	なし
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	高い	2
	平等利用の確保対策の充実度	普通	1
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	高い	2
	経営ノウハウの活用度	高い	2
	管理・運営コストの抑制度	高い	2
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	普通	1
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
		合計点	13

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

## 平成29年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	1	岡谷市文化会館(カノラホール)	
指定管理者	名称	(公財)おかや文化振興事業団	指定期間	H28.4.1~H33.3.31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	151,645,000円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	ブランド推進室			

### 1 施設の利用状況

\*①は貸館施設のみ対象 \*②・③はどちらかの欄に記入 \*

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 施設稼働率	85.1%	85.5%	90.6%	
年間開設日数(日)	304	301	303	306
1日の開設時間(時間)	10	10	10	10
年間利用可能時間(時間)	3,040	3,010	3,030	3,060
年間利用実績(時間)	2,586	2,574	2,745	
② 年間利用者数(人)	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数(件)	1,645	1,843	1,860	1,860
有料利用件数	472	518	694	694
無料利用件数	0	0	0	0
減免措置件数	1,173	1,325	1,166	1,166
④ 1日あたり利用者数、件数	5.4	6.1	6.1	6.1
⑤ 施設利用状況の説明				

### 2 コストの推移

\*この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	202,395,295	168,993,941	199,562,670	163,079,000
経常経費	168,915,295	168,993,941	160,250,670	160,079,000
臨時的経費	33,480,000	0	39,312,000	3,000,000
*臨時的経費の説明	小ホール音響設備等改修工事、小ホール照明設備改修工事			

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	5,600,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	207,995,295	172,193,941	202,762,670	166,279,000
前年度比		82.8%	117.8%	82.0%
財源内訳				
一般財源	166,481,593	138,857,202	154,292,938	131,751,000
特定財源	41,513,702	33,336,739	48,469,732	34,528,000
*特定財源の説明	文化会館使用料・財産使用料・国庫補助金			
④ 施設使用料年間収入額	13,460,190	15,308,227	19,041,220	23,000,000
⑤ 年間減免措置額	18,481,000	26,186,115	20,850,835	20,850,835
⑥ 受益者負担割合	15.8%	24.6%	20.0%	26.9%
⑦ 活動一単位あたりコスト	106,088	93,431	87,877	
前年度比		88.1%	94.1%	
⑧ コストに関する補足説明				

### 3 大規模修繕の予定

予定事業費	42,600,000	円	予定時期	H31年度以降
内容	大ホール舞台機構交換工事・大ホール舞台照明ボーターケーブル改修工事(37,000,000円) 空調冷却塔改修工事(5,600,000円)			

## 4 施設の維持管理コスト

## 1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
役務費	105,670		105,670	建物総合損害共済
委託料	151,645,000		151,645,000	岡谷市文化会館管理委託
負担金補助及び交付金	8,500,000		8,500,000	自主事業補助金
工事請負費		39,312,000	39,312,000	小ホール音響設備改修、小ホール照明負荷設備等改修
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	160,250,670	39,312,000	199,562,670	

## 2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.40		0.40	人
合計	3,200,000	0	3,200,000	円

## 3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
文化会館使用料	19,041,220		19,041,220	使用料
財産使用料	28,512		28,512	自動販売機
繰入金			0	文化会館事業基金繰入金
市債			0	
国庫補助金	29,400,000		29,400,000	(公財)長野県市町村振興協会
雑入			0	
合計	48,469,732	0	48,469,732	

## 4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	114,980,938	39,312,000	154,292,938